

第4回新春公民館川柳大会・入賞作品

NO. 1

	作 品	お名前	部門
大 賞	集落の星 三年ぶりの 餅背負う	おくむらやすお 奥村靖男	一般
公民館 長賞	子どもたち 輝く笑顔に 星3つ!	なかやまさとし 中山晶年	一般
中学校 長賞	いつかなる 光かがやく あの星に	なかの しずく 中野滋月	中 1
小学校 長賞	大みそか 星を見ながら 帰る道	こいずみ じん 小泉 仁	小 6
特別 奨励賞	星空の ^{もと} 下で語らう 夢ふたつ	さかもとかずや 坂本和也	一般
〃	人生に 一番星の 輝きを	ふじながかいむ 藤長海夢	中 3
〃	ながれ星 ねがいが叶う ほんとかな	ふじい ゆつき 藤井優月	小 5
入 選	以下小学生の部 18名		
次点	いつまでも 星が見ている 君のこと	おおにしこうたろう 大西倭太郎	小 3
次点	星たちの そこは楽園 すてきだな	きやましおん 木山心温	小 6
次点	流れ星 あっという間に さようなら	なかむらじゅんご 中村 淳 吾	小 6
	ながればし くるまみたいに かけだした	あんどうあゆむ	小 1
	クリスマス ツリーのてっぺん ほしがある	ひろえみなど	小 1
	天の川 二人がであう さいかいだ	なかむら 中村みや	小 2
	いつまでも かがやくさそり座 見ていたい	きやまはるか 木山暖栴	小 3
	星が住む 宇宙は広い 銀河系	ふなはしゆうこ 船橋侑子	小 3
	ご先祖様 星になって 見守ってる	さだひら あずさ 定平 梓	小 4
	1度でも すごいスターに なりたいな	たにもとめい 谷本芽依	小 4

	作 品	お名前	部門
	ながれ星 夜空にひかる ねがい星	<small>わたなべえれな</small> 渡邊瑛鈴奈	小4
	導きの 青い星より 輝かん	<small>おおた</small> 太田くらのすけ	小5
	星たちが しゃべっている 空の上	<small>はらだ</small> 原田まさや	小5
	キャンプで 星がたくさん きれいだな	<small>やまさきそら</small> 山崎奏空	小5
	星になり 君のとなりで かがやくの	<small>くにさださくら</small> 國定咲良	小6
	いつだって 見守っている 遠い星	<small>ひろえほのか</small> 広江穂香	小6
	地球もね いろんな星の 一つだよ	<small>ふじいともや</small> 藤井友也	小6
	クリスマス サンタがほしに ぶつかった	<small>わたなべせな</small> 渡辺聖央	小6
入 選	以下中学生の部 18名		
次点	大丈夫 星が皆を 照らしてる	<small>しわくいぶき</small> 塩飽泉稀	中2
次点	大空を きらめく星に なってやる	<small>とくやましようえい</small> 徳山昇英	中2
次点	とどかない 恋の相手は お星様	<small>ふじいゆめ</small> 藤井悠芽	中3
	星みると 心がとても いやされる	<small>やまさきみお</small> 山崎美桜	中1
	オリオン座 よくよく見たら すなどけい	<small>おおつかあかり</small> 大塚 陽	中1
	明け方に 星が儚なく 散っていく	<small>おかもとゆうな</small> 岡本優奈	中1
	お月様 ぜんざいに入った おもちみたい	<small>みずかわぎんせい</small> 水川銀世	中2
	家族との 絆深まる 流星群	<small>くろきなゆ</small> 黒木菜結	中2
	上見れば 空に広がる 星の花	<small>みやけるちあ</small> 三宅瑠悠愛	中2
	星降る夜 願いたくさん どうしよう	<small>のむらみつき</small> 野村美月	中2

	作 品	お名前	部門
	流れ星 叶うといいな 願いごと	やまさきる あ 山崎流空	中3
	流れ星 みんなでいそいで 願いごと	たむらこの か 田村心楓	中3
	星見てる 君の姿と ながれ星	おおにししょう た 大西翔太	中3
	待ってくれ ねがいを聞いて 流れ星	さとうらい 佐藤来威	中3
	流れ星 その一瞬に 夢のせる	なかの ひ な た 中野日和太	中3
	見上げると 星はいつでも 見ているよ	やすぎいちる 八杉一路	中3
	新しく 一等星が 産まれたよ	とくやまあや か 徳山絢香	中3
	伝えたい 思いを星に 託すんだ	くにさだみくの 國定未来乃	中3
入 選	以下一般の部 17名		
次点	流れ星 願うはいつも 君のこと	おおにしみち え 大西倫枝	一般
次点	星空が 聞いているふたりきりの夢	やまもとあきお 山本昭夫	一般
次点	ユートピア 静かな郷に 星が降る	たにもとまさよし 谷本正義	一般
	すもうとり なにより欲しい 白い星	いけだみきひろ 池田幹広	一般
	流れ星 いつも願いが 間に合わない	いしみずみつよ 石水光世	一般
	ショーヘイの グローブはめて 星目指す	筒井 健	一般
	いつかなる 新吉中の ニュースター	せ こけんしん 瀬古賢伸	一般
	この星を 遠くの友も きっと見る	まつもとたかのり 松本隆憲	一般
	再会の いかにとやせん 君の星	ありもとかつこ 有本勝子	一般
	「昴さま」 遠き日に聞く 祖母の声	おおしまあきこ 大島章子	一般

	作 品	お名前	部門
	「はっけよい！」 金星さばく 庄之助	あんどくとくみ 安藤徳美	一般
	大宇宙 きらめく星に 夢託す	たにもと あきら 谷本 晃	一般
	夜空には 思い星願い星 あふれ	あんどははじめ 安藤 肇	一般
	帰省した 息子の手料理 星三つ	あんどよしみ 安藤芳美	一般
	この地から スター誕生 待ってるよ	なかむらゆうこ 中村優子	一般
	あの星に 住んでる人に 会いたいな	あんどとしこ 安藤俊子	一般
	窓ごしに 満天の星 ワルツ聴く	いしいたかこ 石井孝子	一般
	応募総数 238句 (152名) 小学生 77句 (46名) 全校生徒 中学生 97句 (72名) 一般 64句 (34名)		

大賞 「集落の星三年ぶりの餅背負う」

「餅」は一歳の誕生日に背負う一生餅のことです。過疎の村に久しぶりに生まれた赤ちゃんです。新山地区にとっても他人事ではない句です。

「集落の星」はそのまま「村の星」でもよかったと思います。

公民館長賞 「子どもたち輝く笑顔に星三つ！」

過疎化が進んで子どもたちの声が聞こえなくなってきました。それでも登下校の時間に外に出てみるといつもの元気な声と輝く笑顔に出会えます。星三つなどと遠慮しないでください。思い切って「星五つ！」です。

中学校長賞 「いつかなる光かがやくあの星に」

大きな夢を抱いています。「光りかがやく」と言い切ったことが素晴らしい。若者らしい、元気で勢いのある句です。オジサンたちには恥ずかしくてとても言えません。

小学校長賞 「大みそか星を見ながら帰る道」

家族で帰る夜の道。そのとき見た、降るような星空のことは一生忘れないでしょう。その場の情景が鮮やかに浮かんできます。「大みそか」の代わりに「除夜の鐘」や「初詣」としてもいいですね。

一般特別奨励賞 「星空の下で語らう夢ふたつ」

仲のいいふたり。星空の下で語り合っています。別に男女とは限りません。男同士でも女同士でもいいのです。若いふたりがそれぞれの夢を熱く語っています。

中学生特別奨励賞 「人生に一番星の輝きを」

句の中でも、文字どおりの「一番星」が輝いています。若さあふれるピッカピカのすてきな句です。どんな人生を歩もうともナンバーワンを目指してがんばってください。

小学生特別奨励賞 「ながれ星ねがいが叶うほんとかな」

流れ星が消える前にお祈りしたら願いが叶う。みんな単純に信じています。けれど、それに疑問を持った君は偉い。でも本当は、お祈りが間に合わなかったので、悔しまぎれに言ってるだけじゃないのですか。

新山地区の老若男女の皆さん、沢山の川柳句をありがとうございます。そして新山小学校と新吉中学校の先生方、生徒諸君。ご協力ありがとうございます。

